『愛媛ＭＥの会』の発足について

平成28年１月６日（水）
ＭＥ１期生代表　相原　博紀〔第001号〕
愛媛県土木部　道路維持課

まず。。。

社会基盤メンテナンス エキスパート（ME）１期生 認定までの流れ

平成26年度社会基盤メンテナンス エキスパート養成講座（ＭＥ養成講座）

- 平成26年度ME養成講座
  〔前期〕平成26年10月27日（月）～31日（金）：５日間
  〔後期〕平成26年11月17日（月）～21日（金）：５日間
  合計：10日間
- ME認定試験
  〔筆 記 試 験〕　平成26年12月12日（金）
  〔ﾌﾟﾚｾﾞﾝ試験〕　平成26年12月19日（金）
- 会場
  愛媛大学社会連携推進機構棟　研修室
- 受講者内訳
  国土交通省１名、愛媛県２名、市町９名　行政関係：12名
  設計コンサルタント11名、建設会社３名　民間関係：14名
  合計：26名

ＭＥ養成講座　講義内容

アセットマネジメント：7コマ
社会資本とアセットマネジメント
アセットマネジメント概論
ライフサイクルコスト概論
リスクマネジメント概論

橋梁：9コマ
橋梁の設計と維持管理
劣化予測・評価方法
耐震補強設計
補修設計
コンクリート・鋼橋の損傷と対策
点検方法

河川：2コマ
河川の維持管理
河川の点検方法

トンネル：2コマ
トンネルの維持管理
トンネルの点検方法

舗装設計と上下水道の維持管理：2コマ

土質・斜面構造物：7コマ
健全度評価
土質構造物の設計と浸透
斜面・構造物の維持管理
擁壁の設計と維持管理

災害概論：7コマ
洪水被害の概要と対策
土砂災害の概要と対策
地震発生の被害と対策
津波発生と被害想定

フィールドワーク：7コマ
①下水道（中央浄化センター）
②橋梁（天山橋・星岡橋）
③擁壁・斜面（３１７号）
④トンネル（三坂隧道）

ワークショップ：7コマ

特別講義：2コマ（懇親会）

→　５０コマ × 1.5h　＋　15h　＝　９０hの講義

筆 記 試 験
プレゼン試験

26名　全員合格！！

前期受講状況

フィールドワーク（橋梁の維持管理）

後期受講状況

フィールドワーク（擁壁・斜面の維持管理）

フィールドワーク
（トンネルの維持管理）

続いて。。。

社会基盤メンテナンス エキスパート（ME）１期生 としての活動

ＭＥ１期生認定後の活動①

- コンソーシアムシンポジウム
  「安全な“みち”のために」への参加

日　　時：平成27年２月27日（金）13：00～
会　　場：今池ガスホール〔愛知県名古屋市〕
参加人数：10名

主催：岐阜大学
共催：長崎大学
　　愛媛大学
　　長岡技術科学大学
　　山口大学

コンソーシアムシンポジウム 「安全な“みち”のために」の概要

- 長崎道守、岐阜ME、愛媛ME、新潟ME、山口ME修了生によるワークショップ

【内容】長崎道守〔６名〕、岐阜ME〔30名〕、**愛媛ME〔10名〕**、新潟ME〔５名〕、山口ME〔３名〕の修了生計54名により、**『社会資本の維持管理に関する現状認識と課題』**や**『修了生として貢献したい場所や目標とする技術者』**等について意見交換

各大学のME認定者と活発な意見交換

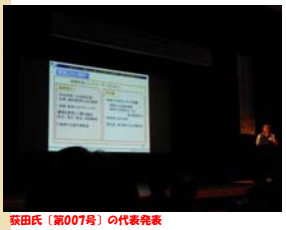
各班の代表者による意見交換内容の発表

コンソーシアムシンポジウム 「安全な“みち”のために」の概要

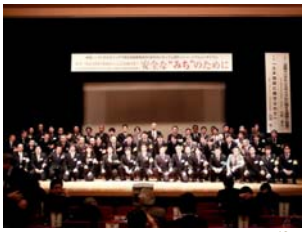
- 「安全な“みち”のために」シンポジウムでの発表

【内容】各大学の修了生により意見交換した内容を、代表発表者の一人として**ＭＥ１期生〔第007号〕荻田氏**が、**206名が参加した「安全な“みち”のために」シンポジウム内にて発表**

【発表テーマ】修了生として貢献したい場所、取り組みたい継続教育、目標とする技術者について



荻田氏（第007号）の代表発表



各大学の認定者全員で決意発表及び記念写真

ＭＥ１期生認定後の活動②

- 平成27年度ME養成講座へ講師として協力

【内容】平成27年度ME養成講座の**『ワークショップ』や『現場実習』へ講師として協力**

【参加人数】ワークショップ　２～３名×４日　計　９名
　　現場実習　４～５名×３日　計　13名
　　意見交換会　　９名
　　延人数３１名

ワークショップ：ＭＥ１期生と２期生養成講座受講者でグループ討論

現場実習でのサポート［橋梁の維持管理］

ＭＥ１期生認定後の活動③

- ME認定をきっかけとして、各個人が積極的に活動

①機関紙への投稿

- 西条市におけるメンテナンスのありかたについて、**月刊道路に投稿**し、11月号に掲載〔第016号西原〕

②新たに資格試験に挑戦

- ME養成講座により資格取得の重要性を再認識し、**技術士〔一次試験〕を受験、合格**〔第023号宮成、第019号兵頭〕
- MEとして、メンテナンス関係の資格は必要である実感し、**コンクリート診断士を取得**〔第010号佐伯〕

ＭＥ１期生認定後の活動③

- ＭＥ認定をきっかけとして、各個人が積極的に活動

③ＭＥ養成講座で学んだ知識を通常業務へ活用

- **直営で橋梁点検**（テストハンマーによる打音検査等）を実施〔第014号冨永〕
- **点検診断・維持管理社内プロジェクトの事務局**や**長寿命化計画**（公共施設等総合管理計画）**支援事業**を社内で担当〔第007号荻田〕
- 国道の補修工事において、ME養成講座で学んだ**橋梁の劣化要因や劣化状況・補修方法の知識を活用**〔第006号大森〕

④名刺に『社会基盤メンテナンスエキスパート（ME）』を記載

- 名刺に資格名を入れ、**ＭＥをＰＲするきっかけ**に〔多数〕

⑤社内等でMEの重要性をＰＲ

- 社内論文や社内プレゼン、職場研修等で**ＭＥの重要性をＰＲ**〔多数〕

最後に。。。

愛媛ＭＥの会の今後の取り組みについて

愛媛ＭＥの会の今後の取り組み方針

ＭＥ１期生は、ＭＥ認定以降、さらなる自己研鑽を各自行い、**論文発表や資格試験への挑戦**、また、**ＭＥ２期生養成講座への協力及びサポート**などを行ってきた。

今後は…

今後、愛媛県内に限らず、四国全体でのＭＥの拡大を進めていくためには、これら**個人の活動に加え、組織的な活動が重要**となってくる。

そこで、本日、**愛媛大学やＭＥ２期生とともに**、**『愛媛ＭＥの会』**を立ち上げ、**組織的な活動へ拡げて参りたい**。

『愛媛ＭＥの会』をよろしくお願いします。